OLIVE 香川大学学術情報リポジトリ

商工經濟研究　第八卷　第二號（昭和八年四月廿八日發行）

日本の國家と經濟（二）

作田莊一

我々は平和の時代には必ずしも大なる人物が欲しいとも思はないけれども、世が亂れて參りまして、どうしたらいゝかわからないといふやうな時期になりますると、人々は必ず英雄を思ひ出すのであります。英雄が現はれて其の聰明な知識と強い力に依つて此の時局を救うて呉れゝばいゝといふ要求が當然起るのであります。今日の時代に於て其の英雄に當るものは何であるか。今は昔のやうに個人が偉いからといつてそれに依つて仕事が出來る時代ではなくなつたのであります。現代に於ては各個人の力といふものは實に弱いものである。殆んど何事もなし得ないのであります。それで此の難局を切り拔けてゆくものは何人であるか。社會によるかと申すと、社會といふものは全く盲目的な動きしかしないのである。社會は目的を持たないのであります。其の時其の時どつちかに動くことは動きます。景氣を變動させたり、商品の價格を決定したり、或は恐慌を起したり、失業者を出した

OLIVE 香川大学学術情報リポジトリ

り、種々のことを社會はやりますが、然し全く盲滅法に動くのです。社會は一つの自然力の働きでありまして何の目的も持たないのであります。それが社會の特質である。それで殘る處は先づ國家の力、國家意志の力の外はないのであります。此の難關を切り拔けるには國家がやらねばならないといふことが一般の人々の意識に上るのであります。處が特に日本に於て見ますると、今日國家に對する人々の信賴といふものが非常に薄くなつて居るのであります。薄くなつたゞけではなく進んで國家を破壞しやうといふ思想が行はれて居ります。又其の實踐的な行動すら現はれて來て居るのであります。國家ならば是でやつてゆけるのだと思ふ人々の中に、其の國家こそ我々の生活を苦める處の最も大きな力である、先づ其の國家を倒さなければならないといふやうな思想なり行動が一方に於て現はれて來たのであります。茲に於て人々は頗る迷ふて來るのです。國家によるべきであるか否國家を倒すべきであるか、全然正反對なる思想が行はれ、又それに續いて實踐の行動が出て來たのであります。茲に於て今日の問題としては國家はよるべきものであるか、倒すべきものであるか。此の問題が我々に與へられた極めて深刻なものになつて來るのであります。從つて其處には國家と經濟との關係を明らかにしなければならない。特に日本の國家と日本の經濟との關係を正確に摑まなければならない。是が極めて重要なる問題になります。處が諸君は經濟學を學ばれて居られるのでありますが、今迄種々の話を聞かれ、本を讀まれたのでお解りでありませうが、從來の經濟學は國家と經濟の關係を極めて粗末に扱つて居るのであります。私も十一年間山口高商で經濟學の講義をやりましたが、所が高等商業の學科の中、國家といふ言葉を持ち出すのは私の受持つたものゝ一

OLIVE 香川大学学術情報リポジトリ

部の財政學だけであつた。財政學ではどうしても國家を出さないと財政學は話されない。所が外の學科を見ると國家の出て來る學科は餘りないのであります。是を見ても解るやうに從來の經濟學なるものは、國家なるものを非常に輕く見て居りました。で諸君が經濟原論の本を見たらわかりますが、國家といふのが何處にあるか、叮嚀に見ないと殆どわからない。國民經濟に於ける國家の地位といふことに就ては何にも書いてないのであります。そして今我々に與へられた問題は主として經濟生活の現在及び將來に關するものであります。そして此の經濟問題を說くに當つて國家によるべしといふのと、國家を倒すべしといふ二つの反對の思想が出て居る。であるからいやでも應でも經濟と國家の關係を判然摑まなければならぬ。從來の經濟學では今日の問題は解けないといふことになるのであります。どうして從來の經濟學は國家を輕く扱かつたかと申すと、多くは從來の經濟學が個人主義經濟學であつたのであります。個人生活から社會經濟を說明するのである。個人主義の立場から社會經濟を說明するのである。個人主義の經濟學は先づスミスに始まつた英吉利の正統學派と墺太利學派の經濟學、此の二つが日本に於て尊重されて居る。所がスミスの學說は御承知のやうに國家を極めて輕く扱つて、國家は出來るだけ動かないやうにして欲しいといふのがスミスの說であります。それでスミス流に考えると國家を敬遠擯斥して居る譯であります。國家の働かない經濟程進んだ經濟であるといふやうに見て居る。それから墺太利學派の經濟學は、個人の主觀的價値から出發してゆくのであります。價値論としては餘程精密なるものを以て展開されて居るけれども、要するに國民經濟といふものは、個人經濟の關聯に過ぎない。個人經濟が唯關係して連なつて居る

OLIVE 香川大学学術情報リポジトリ

だけで國民經濟其のものは決して統一された一體性のものでない。斯ういふように見て居りますから、墺太利學派では國家なるものは問題にしないのであります。其處で從來の經濟學は國家といふものを經濟生活の方から除名して居る譯である。是は今でもそういふ見解をとつて居る人が少なくない。經濟に國家を出すのはいかない、經濟は經濟で、國家は經濟外の概念であるといつて居る人がある。それは唯經濟といつたら國家は中に入つて居りません。けれども唯の經濟といふものは現實には何もない經濟である。それは家庭經濟であるか企業經濟であるか、國民經濟であるか、世界經濟であるか、現實にあるものは是でありまして唯の經濟といふものはない。國家が出て來ないでも經濟だけの概念は成立つのであります。然し我々はそういふ全然實在しない處の經濟を持つて來た處で、それは空虛な思想である。空想的な經濟を扱つた處で何にもならない。經濟は必ず家庭經濟であるか企業經濟であるか、國民經濟か、世界經濟か、實在なるものを持つて來なければならない。其の中にて今我々は國民經濟を問題にして居る。國民經濟といふ以上は國家といふものが一つの要素として考へねば、國民經濟といふものはあり得ないのであります、如何なる作用をするかは時代に依つて異なり國に依つて違ふ。又見る人の見解に依つて岐れますけれ共、國家が傷かない國民經濟といふものはあり得ない譯であります。所が個人主義の方からは決して國家が無視されたことではないが、唯國家を成るべく斥けて見るといふ點が個人主義である。個人主義の經濟學からは國家を倒せとはいはないが、どうも國家を態よく除名して居る。所が是に對立して起つた經濟學は社會主義の經濟學、科學的社會主義、マルクス、エンゲルスの經濟學說である。此の方からは國家は極

OLIVE 香川大学学術情報リポジトリ

めて有力なものと認めてあります。併し國家といふものは有産階級が無産階級を搾取するために働く強力な組織である、と斯う見てゐるであります。其處で國家は無産勞働階級にとつては正面の敵となるのであります。即ち有産階級が搾取するために用ひる處の強力組織であるといふ。其處で無産階級の立場からいえば、有産階級を倒すといふことは同時に國家を倒すことである、斯ういふことになります。國家を敵とするといふ思想になる。其處で初めの間は國家は有産階級の機關であるから、そういふものは倒せといふだけであつたが、段々と革命的氣運の高まるに從つて、先づ何を置いても即刻に國家を倒せといふことが、戰略の最も重要なものになつて來たのであります。有産階級を倒すには先づ國家を先に倒せ。有産階級はこの強力に依つて搾取して居るのであるから、其の力を倒して了へば後は有産階級はバラ〳〵になる。全く力の拔けたものになつて了ふ。現に今年のモスコーの共産黨大會に於ては、日本の共産黨に對し何を指令してあるか。日本に於ける共産黨の任務は日本の歷史的國家を破壞することが最も急務である。日本の共産黨は種々運動するけれ共、日本の國家といふものにぶつかると實に鐵壁にあたるが如く如何ともすべからざる狀勢にある。日本で共産黨主義を實現するには何を置いても先づ歷史的國家を破壞せよ、といふことが日本に對する指令として出て居る。そういふやうに社會主義の方からは、國家を全く敵として見て居るのであります。其處で我々は從來與へられた經濟學は、國家は依賴するものでない國家といふものを我にはソツトして置け、成可く働かないやうにこちらの方から牽制して置くといふ說と、國家は無産者の敵であるからして眞先に是を倒せといふ說、此の二つが與へられて居るのであります。

OLIVE 香川大学学術情報リポジトリ

茲に私は日本の經濟學が今迄どうなつて居るかを簡單に申します。德川期の終り頃になりまして、立派な學者が出來ました。佐藤信淵、三浦梅園等といふ學者が出て經濟論も餘程優れたものがありますが、然し德川期と明治以後とは、國民經濟が古代的から近代的に變つたのであります。古代のものと近代のものとは其の面目を殆んど異にして居ります。どんな優れた經濟學說であつても、德川時代のものは明治時代には通用しないのであります。其の儘持つて來ることは出來ないのであります。舞臺が殆んど全く違つて居るのであります。其處で明治の時代に入りますと、基礎といふものは其の前にもあつたけれども、明治時代に相應する經濟論といふものは何もない。其處は眞空になつて居るのであります。それで外國の經濟學が其の眞空に入つて來たのであります。で一番先に入つて來たのが英吉利の自由主義の經濟學、スミス、リカルド、ミルの經濟學である。此の經濟學を大いにひろめた人は、最初には慶應義塾の福澤諭吉翁であり、經濟學者としては田口鼎軒天野爲之氏などの先輩であります。田口鼎軒の方は東京經濟雜誌に據り、天野爲之氏は東洋經濟新報に據り、有力なる機關を用ひて經濟論を發表したのであります。是は大體に於て英吉利の自由主義の經濟學、個人主義の經濟學を其の儘持つて來たのであります。處が英吉利で自由主義の經濟學が起りましたのは、スミス以前に於て國家の統一主義政策が功を奏し、そして國家の力に依つて英吉利の國民經濟が大體成熟して來た後であります。先づ輪廓は出來て了つたのであります。此の後は國家の干涉を須たないで、個人の自由行動に委せる方が遙かに富の增殖に於て有利である、國家が一々指圖するよりも、個人の自由に依つて全世界に廣がつて居る英吉利の經濟力を働かせることがいゝと

OLIVE 香川大学学術情報リポジトリ

いふ時代になつた。それでスミスの自由主義は正しく英吉利の國民經濟の要求する處であつたのであります。スミスは其の代辯人として出たのであります。それからスミスの自由主義の說が發表せられるといふと多くの人々から、共鳴されて、それから續々と政府の政策の中に織り込まれて來たのであります。ピットが議會に於て關稅引下の說明をする時も、ドクトル・スミスの學說を引用して自分達の政策を裏附けて居るのであります。スミスの自由主義は時代の要求であつた。處が日本では維新の改革に於て、政治であれ、經濟であれ、敎育、國防、あらゆるものに向つて國家が新しい施設を始めて來た。民間の方は殆んど無能力である。先刻の例のやうに株式會社の如く、いつて聞かせてもわからない。電信線を張ればあの針金は何か血を吸ひ取るものと考え、汽車を經營するため東京横濱間に線路を敷いても妨害を加へる。あの電信線を全國に引くことすら容易ならぬ苦心をした位です。凡てをよく知つてゐる世界の大勢に稍々通じて居るものは政府當局だけ位のものである。其處で一切のことが殆んど政府の計畫に依つて實現されて行つた。是は丁度英吉利の方でいえば、スミスが出る前にあつたあの時代にあたるものである。それで時代からいひますと、マルクスが最初に著はした處の濟經學批判が一八五九年でありましたが、其の當時は日本では安政六年で吉田松陰が斬られた年であります。其の時英吉利では、マルクスが資本主義は遠からず崩壞するといふ說さへ唱へた時です。日本では開國の先達である吉田松陰が斬られて居る此の安政六年から初めて世界經濟の中に入らうとする。資本主義は其の後十餘年を經て明治の初めになり、明治十年頃から漸く株式會社が起つた。資本主義は株式會社に依つて發達してゆくのであります。だから英吉利

OLIVE 香川大学学術情報リポジトリ

と日本と比較すると非常な年代の隔たりがあります。でマルクスが資本主義はいかないといふ頃は、日本では資本主義の何たるかはわからない時代である。從つて英吉利の自由主義の學說は明治初年の日本にとつては全然時代錯誤であります。如何に田口、天野兩氏が英吉利流の經濟論を說いても一向に世間では共鳴しない。時代が要求しないのである。時代は反對に國家の統制に依つて國民經濟を近代的に建設する時代であります。それで最初に入りました英吉利經濟學說は、國民の血となり肉となることは出來なかつた、唯徒らにジャアーナリズムの思想として終つて了つたのであります。其の次に是に代つたものが、獨逸の經濟學であります。獨逸では御承知のやうに歷史學派と墺地利學派が起りました。歷史學派の方は別に理論を立てないから、最初我國では榮えなかつた。歷史の立場でゆくには日本ではまだ早い。正に歷史を作つてゆく時である。日本でも經濟歷史の研究が始まつたのはずつと後であります。それで獨逸から來たが、墺地利學派の經濟學でありました。所が此の獨逸流の經濟學はどうして入れられたかといふと、是は主として大學の方から出た留學生が向ふで研究して、そして戻つて大學の講壇から、學生に放送した經濟學であつた。彼の福田德三博士の經濟學講義といふ書物の序文に次のやうなことが書いてある。自分が獨逸留學から歸つて東京の高等商業學校で經濟原論の講義をしたが、學生は如何にも新しい學說として耳を傾けて聞いて呉れるが、實は是は獨逸のブレンタノー先生の講義其の儘を話して居るので、自分の腋の下には冷汗が流れたと書いてありますが、其のやうに獨逸の經濟學は、獨逸に留學したものが歸つて向ふの通りやるのである。であるから獨逸經濟學は學校の敎壇から學生に放送された經濟學に過ぎない。そして

OLIVE 香川大学学術情報リポジトリ

それは大體矢張り、個人主義的經濟學であつた。其處で先づ日本に於きましては、國民經濟が統一されて十分なる基礎が出來て、是からは個人の自由に委した方がいゝといふスミスが出た時代は、日本には今までない。是は前に申しましたやうに日本の生産力の特殊事情から來るのであります。個人主義の經濟學は日本の實際の經濟問題を解決する處の力とはなり得なかつたのであります。であるから折角學校で經濟學は學びますが、學校を出て、會社銀行に行く、官廳に行くと、學校のノートは打ち遣られて用ひられない。此の點で經濟學が非常に輕く見られたのは止むを得ない。外の學科でありますと學校で習つたものは、卒業後に役立つ。そして疑問が起れば先づノートを見る。即ちノートは學校だけで濟すのではない。所が今迄のやうな經濟學であれば、試驗さえ濟めば何時打遣つてもいゝ、もう御用はない。そういふ意味に於ては日本では是迄、ある時代まで、英吉利の經濟學も獨逸の經濟學も國民經濟の實生活の中に血となり肉となつて入り込んだ思想といふものはないのであります。言ひ換えれば長い間、殆ど四五十年近く經濟學といふものによつて我々の行動は動さかれてなかつた。それが世界戰爭の終りになりまして、一般の狀勢が變化いたしまして、どの國に於ても無産階級の運動が次第に進出して來て、遂には露西亞の如きは無産階級に依る革命さへ實現されて來たのであります。此の時に於てマルクスの經濟思想が日本に於て次第に多くの人々を捉えて來たのであります。今迄經濟學として一般の人が深く頭に刻みつけて居るものはなにもない。其處にマルクスの社會主義經濟學を持つて來た。そして恰かもマルクスの思想の擴まる頃はマルクスが述べて居るやうな社會現象が着々起つて居る。マルクスがいつて居るやうなそういふ

OLIVE 香川大学学術情報リポジトリ

現象が起るから、それでマルクスの經濟思想が擴まつたといふ論も立ちます。成程マルクスのいふ通り資本主義は行き詰つて來る。失業者は出て來る。次第々々に恐慌といふものが周期的でなくて、何時迄も深刻になるといふマルクスのいつて居ることが、現實に於て實證されるやうになつて來た。是がマルクス經濟學が廣く世の中に擴まつて來た譯であります。然し外國では必しも然うでない。英吉利等でいひますと、英吉利は自分の國民經濟から生まれた經濟學を持つて居ります。であるからマルクスの經濟學が這入つた所が別に驚かない。それだけ力强く感じない。若し資本主義を改めるならば英吉利はマルクスに依らないでも、それはオーウエンに依つてもよろしい、或は英吉利特有のギルドソシアリズムをとつてもいゝ。又佛蘭西はプルードンを持つて居る。マルクスの說は學究的に考えると面白いかも知れない。然し佛蘭西人が佛蘭西の社會を改造するに於てはマルクスを要しない。どの國でも自分の國民生活に即してそれから生み出した經濟學を持つて居ります。何も外から入つた思想ですつと皆一撫でに撫でられることはあり得ない。處が日本では經濟學なるものは、實際の生活に入り込んだもの、實生活に即したものを持つて居らなかつた。いはゞ矢張り眞空狀態であつた。そして入つて來るマルクスの經濟學は恰かも現實の狀勢を說明するに極めて適切なる理論を與えて居る。そしてマルクスの研究は餘程以前からあつたのであるが、一向世間ではマルクスを省みなかつた。是が多くの人に依つて學ばれるといふやうになつたことは、マルクスの立てた理論が現實に現はれるといふ此の最近の時代に於て初めて廣く歡迎されるやうになつたのであります。そしてマルクスの理論は經濟生活の理論を說明すると同時に、進んで國家の批判に入り國

OLIVE 香川大学学術情報リポジトリ

家といふものは無産者を搾取する強制機關であると見る。現に日本の政治を見ると、近頃の政治は無産者には常に不利であり、有産者には常に利益であるやうな政策が少くない。斯うなつては國家を潰して了えといふやうなマルクスの思想を其の儘に取る思想が可成り廣く行はれて、實行運動さへ起つて來た。其處で私の考を申上げますが、國家といふものは果してマルクスがいふやうな強盜國家であるか。

マルクスの思想を先づ頭に入れないで、我々が自覺によつて見る場合には一體國家といふものはどういふものと考えて居つたか。日本人の思想としては國家は共同體である、共同生活の組織であると思ふ。もつと形容していえば、國家は民衆的共同體である。是が日本人の國家思想である。所でそういふのは封建思想だといふ人もあるが、封建時代は約六百年間のことである。民族的共同體といふ國家觀念は封建時代以前のもの建國以來の古いものである。而かも封建組織を打破して明治に更新されたものである。

太古に於て大和民族は多くの異民族の中に於て最も優秀な民族であつた。是は歴史の上に記錄されない時に已に水田を作つて居るといふことから見ても、餘程進んだ文化を持つて居たといふことが想像される。大和民族は最も優秀であり、他の民族は遙かに劣つて居たと見られる。その大和民族は大家族的な共同組織を持つて居た。それが外の民族を征服した。そして新しく是を大和民族の中に同化して了つたのであります。血緣に於て一つに入り交り、文化の上に於て一つになつた。どういふ譯で特に一民族が優秀であつたか。私にはよくわからないが唯事實として多くの民族があつたが、大和民族だけが特別に優秀であつたといふ事實はあるのであります。其處

OLIVE 香川大学学術情報リポジトリ

で外の民族は是と敵對關係が續けられないで、負けて了ふと大和民族の中に同化されて了つた。今日アイヌ族が少し北海道に殘つてゐるが、他は其の跡形もない。それらは一つの溶鑛爐の中にとけて了つたのであります。それで最初に大家族的な血緣を基礎とし共同の文化を內容とする處の民族共同體といふものが始めからあります。それが漸次に擴大して來たのであります。それから日本民族になり、日本民族の國家になつたのであります。であるから時の政府が搾取するといふことは如何なる時代にもありましたけれども、日本人としては政府以上に常に民族共同體の實在することを意識する次第であります。是は決して研究された知識ではなくて、人々が何かの事件に遭遇すれば必ずや目醒まされる所の國民的意識であり、國民的感情であります。共同體說をとる人も西洋には澤山ありますけれども、西洋のは學問であつて日本のはいはゞ體驗であつたのであります。であるから何も學問しないやうな人も一向其の點に於ては區別しない。此の民族的共同體の意識感情といふものが深く刻み込まれて居ります。此の點に於て私は面白い——別に面白い譯ではありませぬが——一つのかはつた思想を申すと、東大のある教授の說でありますが、此の人は個人主義を採ると公言して居ります。そして其の書いた中に、日本人といふものはどしても民族的共同的の思想で長い間叩き込まれて居るからそれが容易に拔けない。斯ういふ國家思想から脫し得る者は、唯少數の惠まれた思索に耽る人のみが出來得る、と書いてあります。書齋生活に惠まれた人が頻りに思索に耽るといふは何をして居るのか。或は英吉利その他の國家學、或は哲學の書を讀んだといふことでありませう。然し幾ら讀んでみた處でそれは英吉利の國土に於て、獨逸の國土に於て夫々の歷史の生んだ所の思想であ

OLIVE 香川大学学術情報リポジトリ

りますから、それを如何に勉強した所が、個人的にはそのやうな思想になつたといつても、それは唯書齋に於て自己の思索慾を滿足させたに過ぎないのであつて、決して實生活に於て指導力となつて働く所の思想ではあるまいと思ふのであります。我々の常に抱く所の國民感情、國民意識といふものは、無論教養の廣くないものでもよくわかる。又其の通りに働くといふことを幾多の實驗實例に依つて知り得るのであります。然らば事實今のある人が思索に依つてのみ救はれたといつて喜んで居る、其の思索された思想とは何か。英吉利流の國家說でありますといふと、國家といふものは唯個人の生活を保證する機關に過ぎない。いはゆる夜警國家說である。それからマルクスのやうな場合に於きましては强盜國家說になります。それから又グンプロウイッチの說が日本に行はれて居りますが、其は征服國家說である。一民族が他民族を征服してこれを奴隷にして使ふ、强制力を持つて壓抑する、それで國家の權力は初めて出來る、國家は征服に由つて出來ると見る。それが征服國家說であります。そういふ種々の國家說が入つて居りますが、今日我々の問題とすべき所は、果してどれが當つて居るか否やをどう吟味したらいゝか。私の國家思想は、何にも種々のものを讀んで學んだのではなく、唯日本民族としての自覺其のものを表現するだけであります。國家とは民族的共同體である。それだけの意識が出たゞけであります。其の觀念が英吉利にも獨逸にもアメリカにも果して當つて居るか否かはわからない。然し自分達の國家生活だけはそれに相違ないといふ、此の國民的感情、國民的意識の外には何もないものであります。誰の偉い說を學んだものでもなく、自分の書齋に於て考へ出したものでもない。唯國民意識、國民感情を自分のものとして知り感じたゞけ

OLIVE 香川大学学術情報リポジトリ

であります。そして此の國家の性質といふものも種々の事例を持つて來ますとそれで説明が出來る。然らばどうして先刻に擧げたやうな征服國家、或は强盜國家、或は夜警國家といふやうなものと、如何にそれは對立し、何れが眞理であると考えるかといふ問題が起ります。

私は二つ以上の説が、並んで居る場合に於て何れが眞理であるか、或は何れがより高い眞理であるかを決める標準は何であるか、唯自分は斯う信ずるといつてそれだけでは仕方がない。種々の實證を持つて來ることもよい。併し實際の證明となると、それを肯定する事實もあるが又反證も出て來る。二つの説はお互ひに自分に有利な實證を擧げることも出來ます。實證といふものは悉く事實を擧げさえすればいゝのであるが、唯自己に都合のいゝ實例を擧げて來るに過ぎないことが多い。其處で竝んで居る多くの説で何れが正しく何れが上であるかといふことを決めるにはどうしたらいゝか、此の場合甲乙の二つの説があつて甲の方は乙の説を容れる。乙の方だけでは不十分であるが、ともかく乙の説を容れる、所が乙の説は自分の説だけが唯一の眞理であつて甲の説は間違つて居ると否定する。此の場合には私は甲の方の説が一段高い。と斯ういふのです。例へば二人茲に居つて甲は乙のやることに對して常に大目に見て、そしてあゝいふことをやるのも尤だ、乙のやることは全く惡いとはいはない、然し又あれだけやつて居ればいゝといふことは決していはない。かういふ意味で兎も角乙を了解して乙を包容するだけの好意はある。所が乙は全然甲を否定して甲といふ奴は迚もいかない人間であるといつて甲を全く排斥する。此の場合に甲と乙とどちらの人が大きいか、人格が優れて居るかといふと、無論甲の方が優れて居るといはなければならな

OLIVE 香川大学学術情報リポジトリ

い。二つの說に於て一方は他方を容れるが他方は一方を入れ得ないといふ場合は、容れる方の說がより高い眞理であると考える。其の意味から申すと、國家は共同體であると考える場合に於て、先づ征服國家說等は共同體を全く否定するが、共同體はそれらを容れることが出來る。一體征服するといふことはどうして出來るか。決して人數が多いから勝つ譯ではない。例へばギリシヤでは一人の自由民が十三人の奴隷を使ふ割合であつた。人數が多いからといふことで、抑へ得るものではない。又征服者は智能が優れ文化の高いといふことでも決して征服は出來ない。ローマ人は文化の進んだギリシヤ人を征服して居る。ローマ人は奴隷である教養の高いギリシヤ人を子供の家庭教師に用ひた。支那でも文化の低い民族がその高い民族を征服してゐる。然らば二つの民族の勝敗を決定する所は主として何處にあるか。それは共同一致の力の强い民族の方が勝つ。人數も餘りに多くては比較になりませんが、一番大事な點は勝つ方は何時も共同一致して居る。多くのものが一つのものゝ如く動くものが勝つ。是は如何なる事例に徵しても間違ひはない。其處で例へば多くの人々を持つて居りましても、人々の共同意識が弛んで個々勝手に動く場合には、どんな多くの人數でも小數を以て押さえつけることが出來ます。支那の歷史は幾多の實例を與えて居ります。支那漢民族を征服した蒙古民族は僅かの人數で非常に多數な漢民族を征服して居ります。又滿洲から起つた淸朝も僅かの人數を以て何億といふ漢民族を抑へて居た。最近の滿洲事件に於ても一萬四百人の日本兵が、二十萬人の支那兵を數日の中に追つ拂つて了つた。其の原因は何處にあるかといふと、種々の點がありますが、一番大事な點は共同一致して居るものが勝つといふことは疑ひない。であるからし

OLIVE 香川大学学術情報リポジトリ

て一民族が他民族を征服した、征服し得るといふ根據は、征服し勝つた民族が共同體の強いものであつた、共同體が強かつたから勝つたのである。其の共同體そのものは國家の本質であります。であるから征服國家說は全く逆倒の說となる。

次に夜警國家說に對しても共同體說は寬容であり得る。共同體であるとき警察も充實され得る。もう一つはマルクスのいふ强盜國家說であります。是は有產階級と無產階級といふものが相對立して居る、そして有產階級が搾取するには力が要る、其の力として國家が出て來たと斯うみる。其處で是に依ると、階級が先に出て來る。階級が根本的でありまして、國家は後に出て來た。そして國家は第二次の意義を持つに過ぎない。其處で階級が先か、國家が先かといふ問題であります、是に就きましては、次のやうな說明が出來ます、一體階級は、有產階級とか無產階級とかいふその階級は古代共產の時代にはない。是を說明するには次のやうにいふ。一體私有財產といふものは、個人の占有して居つては決して長續きはしない。所有が保護されて所有權となり財產として成立つには一定の强力なる權力がなければ出來ないのであります。强力な權力を待たないで所有制度、財產制度は成立し得ないのであります。であるからして、有產階級と無產階級といふものが成り立つとしても、先づ國家が先になければならない。權力が先になければならない。少なくとも同時になければならぬといふことになる。それから今度は進んで、例へば有產階級、無產階級が出來るとしても、私有財產制度が起つたからといつて直ぐに階級は出來ない。先づ始めに私有財產制度が出來ても、所有には相當所有と超過所有とがあります。相當所有とは

OLIVE 香川大学学術情報リポジトリ

所有者が自分で運用し得るだけのものを所有して居る場合である。超過所有といふのは、自分だけの力で運用し切れない財産を持つて居る場合で、そして無産勞働者を對立させるのである。相當所有の例は、例へば昔に於ても土地均分の場合、或は中世の手工業者の工作道具を持つて居る場合、或は今日に於ては自作農で自分が耕すだけの土地を持つて居る場合、或は英吉利の消費組合の如く、自分の所で持ち得るだけの生産手段を消費組合が所有して居る等は、相等所有である。相當所有である限り人に無料で働かせて其の結果を搾取するといふことはない。故にそれでは搾取は起らない。搾取が起るのは超過所有である。超過所有になつて初めて搾取が起る。搾取したものは一部分は消費いたしませうが、或る部分は更に自己の所有の中に加つてゆくのである。其處で有産者は次第々々に所有の量を增すのであるが、勞働者は堪えず働くだけのことで、別に餘裕も持ち得ないから何時迄も勞働してゆく。此の搾取關係が、或る時迄ずつと續いてゆくと、初めて一方に於ては所有すれども勞働せず、他方では勞働すれども所有せずといふ社會的地位が判然別れて來る。其の地位の出來た時が階級の出來た時である。であるから階級の對立を生ずるに就てずつと遡つてゆきますと、成程初めには國家の力で私有財産制度が出來たのであります。それから階級の對立を生じたことになります。其處で國家が先づあつて階級を作つた、斯ういふことになる。國家が階級より先である。所が國家が階級を作つたといふ言葉は國家に因つて國家から直接に階級が出て來るのではない。國家が私有財産制度を樹てたといふことに依存して、階級が出て來るのである。國家に依賴して階級が出來るが國家が階級を作り出す原因になつたのではない。だから國家が存在すると、是に依

OLIVE 香川大学学術情報リポジトリ

存して階級の對立が出て來る。だからして今度は國家の方から階級の對立抗爭が餘り激しくなつて是では國民生活が破壞されると思ふ時は、國家の方から順次に今迄來た過程を直してゆくことが出來る。相當所有と超過所有を先づ區別して、超過所有を制止して行く。例へば今日でいふならば、地主であつても耕作しない土地は國家が全部國有にして了ふ。そして自分で耕作するものにだけ土地を與えてゆく。是が超過所有を排して相當所有に戻してゆくといふことになる。斯うなれば地主と小作人との間の搾取關係はなくなる。資本主義も又其のやうに日本の近代資本主義は日本の近代國家が養成したものである。資本主義は決してそれ自身惡い者と見るに及ばない。資本主義生産が國民の富を進め得た時代もあるのである。或は生産力を縛つて動かないやうにして富の生産を妨害するといふこともある。其處で資本主義が生産上是でいゝといふ時は國家が養成したのである。又生産上是を改造するといふことも國家の責任である。又國家のみがなし得る處である。それで國家は先づ階級よりも先に存在する。從つて所有階級が勞働階級を搾取するといふ、事實は何處から出て來たかと申すと、それはやはり國家共同體說で理解され得る。共同の名に於て非共同的な行動が許されることがあります。それは社會に於ての自由競爭の結果、一方に於て有力者が他の無力者に對して搾取することが行はれる場合に、國家は是を保護するといふことになる。然も其の保護は有産階級の機關としての保護ではないが、國家が一般の財産制度の保護といふことから軈て其の內部に於ての搾取が許されるといふことが是認される。それであるから共同體であるといふことは、何處迄も共同主義を執るのではなくて、其の下に於ては非共同的なものが起り得るといふことがいへる。租

OLIVE 香川大学学術情報リポジトリ

税の如きもそうであります。それは國民全體の利益を圖るものとして租税を取る、即ち昔から何時もあるやにう租税だとすれば人は止むなくでも出すが、然し其の租税をして政府組織の中に居る者が自己の利益に用ひることは實際あるのであります。此の時に國家は何も搾取する機關として出たのでなく、國家に對し其の名義に依つて出したものを實は非國家的に用ひるといふことになる。であるから國家は常に强盗であるといふ見方からいひますと、日本人の抱いて居るやうな國家思想又それは實際行はれた例が幾らもあるが、此の日本的な共同主義の思想行動は説明出來ない。然るに若し國家は共同組織であるとすれば、そこには共同の名に於て行はれる非共同的な種々なる現象の存在は説明出來るのであります。即ち共同の名に於て非共同が行はれ、國家の名に於て非國家的なことが行はれ得る。即ちそれが出來得るといふことは、もと〳〵共同體國家といふものが實在して居るといふことで初めて可能になるのであります。共同體が實在しないとしたならば、それは實際搾取といふことも永續しない。若し强盗國家説が正しいといふ見解であるならば、我々は何千年の間常に强盗をなすものと、されるものとの歴史に過ぎないことになる、そういふ生活が何千年來、比較的無事にどの民族でも繼續して來たといふことは理解出來ないことになる。其處で私の結論は極めて簡單であります。我々日本人が反省して見れば、國家とは民族的共同體であると考へられる。然し現實に於ては非共同的な現象が非常に多い。其の現象が多いからといつて直ちに本質的に國家を强盗であると見たならば、それは表面の形に捉はれて内面の本質を見失つたものであると、斯様に考へられます。それで共同主義である國家が、働き出しましたならば、いひ換へれば、我々の歴

OLIVE 香川大学学術情報リポジトリ

史的國家が共同主義的に働いたならば、茲に初めて非共同的な種々なる不合理の事實が矯正され得る。共同主義の最も徹底した場合は、各人は其の能力に從つて働き、各人は其の必要に應じて享けるといふのが共同主義の格言である。働くだけ働き要るだけのものは與へて貰ふ、是が即ち共同主義の格率であります。其の格率を實現し得るものは唯一の共同體あるのみである。此の共同體なるものは今迄の人類の歴史には嘗て實在しない處であると見るのがマルキシズムの觀方である。其の共同體なるものは、我々は歴史と共に今日迄數千年の間養成し來たつたのであります。是が日本人的の思想である。其處で今後の問題は共同主義を執るものに於て、初めて此の難關の解決をなす資格がある。共同主義を執り、堅く共同したものが最も強い力を持つ。其の力のあるものゝみが此の難關を打開し得る。其の共同主義を執るものは何であるか。

最近我國民の中でも、マルキシズムが唱へるやうな無産階級の團結を主張するものがある。是に對して吾人は歴史的な日本國家の共同體を高調するのであります。西洋に於ては、斯ういふ思想の對立は起らないが、日本に於ては等しく共同主義の立場を執る場合に於て、無産者の團結を根據とする所の共産黨に對し、歴史的な共同體を守護する所の日本主義の國家思想が嚴乎として存在します。一方の方は四角な赤旗を立てゝ出て來る。東京の大學に於ては、學校内に於て曾て此の赤旗を掲げた示威運動があつたそうであります。是に對立したのは日の丸の旗である。どちらも赤色の旗である。一方は四角と一方は圓で、どうしても方圓相容れずといつてよい。然しどちらも赤いといふ點はあることを暗示する。今日の世間が暗闘になつて居る。多くの人には何處に行つていゝ

OLIVE 香川大学学術情報リポジトリ

かわからない、迷うて居る。財産を持つて居る者は如何にしてこれを保持するかを考へる。今インフレーションが來て金の値段が二分の一、三分の一になるやうなことになつたら、何か物を買つて置かうかと考へる。それはまだ結構な時分である。財産のない人々は今明日の生活を惱んでゐる。何人も憂と恐を抱いてゐる。今の世間は暗闘である、國家さへも其の光を覆はれて、民族的共同體の力といふものが果して實在して居るか、どうかすらもよく見ないとわからない。往々にして青年學徒がそれは實在しないと認定し、そして國家破壞の運動に入る者も出て來る。斯くの如く混亂した暗闘の時代に於ては、何か赤い光が出る必要はありませう。然もそれは四角な赤旗か赤丸の旗か、此の二つが出てゐる。どつちかへ味方しなければならない。どちらでもないといふことは個人主義、自由主義であつて、そういふものは唯人のすることについてゆくだけである。若し自分が先頭に起つて働きかけるものは、角か丸かの旗印を立てゝ動いてゆくのである。しかし諸君が學窓に居る間は、實行運動は問題にならない。諸君が世間に出たときは、今日の國民經濟は如何なる旗の下に動きつゝあるか、といふ實際をしつかりと認識して居らないと、自分がどう動いていゝか見當がつかなくなると思ひます。私のいふことは少しラディカルになつたかと思ひますが。今日では生ぬるいことではいかなくなつた。我々の經濟學さへが已に旗印を立てゝゐる。其の旗印を選擇することが、今日の經濟學に與へられた所の重要な使命であるといふ點だけを中上げて置きます。しかし決して諸君が何れかの旗を一つ持たれるやうに勸める意味ではない。在學中は其等の旗印の眞の意味に就て學問的研究を怠らないことが必要であらうと思ふのであります。（了）